



【キャリア教育センターでの指導(星城高等学校)】



【就職活動セミナー(星城大学)】



【求人説明会(星城大学にて)】

特集

星城大学・星城高等学校のキャリア教育の取組み

高校生の夢を叶える星城大学—リハビリテーション学部編—

学園アラカルト

テレビ取材・CM／親子で星城／慈明高等学校との調印式

「人づくりの学園」 星城大学 一人ひとりの未来を築く手厚い

キャリア教育を行っています 星城高等学校

大学のキャリア教育では学生の就職率100%を目指してバックアップします!

今年度新たな取り組みとして、2年次生全員を対象に意義ある学生生活を営むための「自分づくりセミナー」を開催しました。また、就職活動を控えた2月初旬には、3年次就職希望者を対象とした「就職活動スタート研修」を開催し、「将来を見据え、実践力を磨く機会」を設けました。リーマンショック(2008年9月)以降、様々な就職支援により内定率は改善し、今年度も公的機関や多様な業界へ就職することが決まっています。



【2年次
自分づくりセミナー グループワーク】



【3年次
就職活動スタート研修】

経営学部

入学直後の「初年次キャリアデザインプログラム」を皮切りに、1・2・3年次に全学生と「個別面談」を実施し、学生生活や将来の目標に向け、今何に取り組むかなど共に考え、よりよい選択ができるよう支援しています。

就職活動については、3年次後期から自己分析や企業研究、面接・履歴書対策など、将来を見据え今を考えるためのセミナーを行いました。また今年度は、企業の採用時期変更に伴い、合同・個別の就職説明会実施回数を増やし、企業と学生の接点を作り、学生が幅広い視野を持ち将来を選択できるよう取り組みました。



【リハビリテーション学部 管理者の声セミナー】

リハビリテーション学部

2・3年次生を対象に「社会人・医療人として働くとは何か、今何をすべきか」を考えるセミナーや、身だしなみセミナーを新たに設け、将来働く姿を意識し、目的を明確にするための支援講座を開催いたしました。

創立者の建学の精神を尊び、模範となる学生に向けた奨学制度が設立されました!

4年間の学納金(入学金+授業料+維持費+教育充実費)無償、毎月3万円の学生生活支援金を支給します。

対象者

- (1) 経営学部一般入試に合格し、2016年4月に経営学部に入學し、4年間在學して、卒業する者。人数:3名。
- (2) 合計年収400万円以下の世帯に引き続き属している者
- (3) 向學心に燃え、建学の精神を守り、模範となる受講態度と、よき人間関係に留意し、大学生活を行う者

奨学金内容

入学金25万円、および4年間の学納金360万を全額免除、毎月3万円の学生生活支援金を4年間支給



キャリア教育におけるインターンシップ

インターンシップは、将来の進路選択に繋げるための貴重な活動です。インターンシップ体験を通じて自己の適性について考えたり、現社会で求められる知識や技能を学ぶことができます。よく高校から就職する人のための活動と勘違いされませんが、進学希望者の多い高校でも大学卒業後の将来ビジョンを構築するために実施しています。

インターンシップで得られることは数多くあります。実際の職場で求められるルールやマナーだけでなく、異年齢の大人と接することで言葉遣いや礼儀、コミュニケーションの仕方を身に付けることができます。また自分が目指す人間像が明確になったり、職業において必要な知識や技能と学習との関連性を認識することにより、学びへの関心や学習意欲が高まります。本年度は、キャリア教育として2年生17名の生徒達がインターンシップに参加し、放課後に下記の事前・事後指導を実施しました。

- | | |
|----|--|
| 5月 | ①インターンシップ受入れ企業の掲示と参加の呼び掛け
・基本的な考え方、準備から終了までの流れの指導
・ビジネスマナー・電話対応の講習 |
| 6月 | ①自己紹介カード・研究シートの作成
②インターンシップ受入れ企業の申込み(生徒本人より電話にて) |
| 7月 | ①インターンシップ保険・誓約書・承諾書の説明
②礼状、インターンシップ日誌指導
③学校・生徒・企業の最終打合せ |
| 8月 | ①生徒への事前指導
②インターンシップ実施
③礼状送付 |
| 9月 | ①アンケートの記入
②レポート感想文作成
③報告書・反省会 |

インターンシップを終えて

インターンシップを終えた生徒たちが学校生活に戻った際、今回のインターンシップの体験は今後どのように生きるか尋ねました。「想像以上に社会の厳しさや仕事の責任の重さをひしひしと感じた」、「もっともっと自己研鑽し資格や技術を学ぶために上級の学校を目指したいと目標が出来た」などを語ってくれ、インターンシップの目標に少しは近づけたのかと嬉しく思いました。

また、インターンシップの体験談を先輩となる1年生の各教室で発表してもらいました。自分が仕事を通して実社会の何を学び、何を感じたのか、それを自分の言葉で発表する。これもインターンシップの目的の一つであるからです。1年生にとってもインターンシップの内容が具体的になったばかりでなくこれからの高校生活の一つの道標になるのではないかと思います。

最後に、インターンシップ体験者がこれからの高校生活や大学生活また実社会において、このたびの経験を十分生かされることを切に願っています。

▶ 谷川弥栄さん 社会福祉法人 ケアマキス



▶ 川辺恵利花さん 社会福祉法人 緑生福祉会



笑顔で
業務に励む
生徒たち

▶ 鈴木美穂さん 医療法人香流会 純仁病院



▶ 松延小百合さん Grand Beauty B's (ビューティ)



高校生の夢を叶える星城大学

リハビリテーション学部編

東海地方の私立大学において初の理学療法学専攻、作業療法学専攻を設置した星城大学で学び、現在、各臨床現場で活躍している卒業生をご紹介します。

リハビリテーション学部
10年間の卒業生数



10年間の国家試験合格者数

理学療法学
専攻

431名 → 98.0%

作業療法学
専攻

349名 → 96.9%

私は、大学在学中、「患者さん第一主義」を主眼に取り組みました。このことは、現在、信念や思考の基礎となっています。

現在、私は、急性期病院で、集中治療室(ICU)の患者さんを担当することが多く、またリハビリ医師、救命救急の医師や看護師を通じてカンファレンスの担当もしています。

今後は、「患者さん第一主義」を根底に、後輩、同期、先輩と共に高め合っていくことで患者さんに還元できればと考えています。また、所属しているICUリハビリが、他種や他の施設と情報共有できる関係性を築くことができれば、リハビリ医療の発展に結びつくのではないかと考えています。

Profile 理学療法士

藤田 恭久先生 (5期生)
和歌山県立医科大学附属病院
リハビリテーション科



過程より結果を残す、
そして成功するために大事なことは
自分自身に打ち克つこと

5年後の
東京オリンピック
選手をサポートしたい



オープンキャンパスに参加した時、理学療法学の先生から親身にアドバイスいただき星城大学への入学を決めました。

現在、私はスポーツ選手・愛好者を対象に、より良いからだの状態ですべてを実践できるよう、リハビリを行っています。また、日々の業務以外にも、実際のスポーツ現場に行き、エクササイズを指導したり、セミナー・講習会等を行っています。

私は「頑張る」ではなく「頑張る」ことを大切にしています。頑張れやかに、また、そうなれるよう、目標に向かって日々頑張っています。

Profile 理学療法士

二神 沙知子先生 (7期生)
阿久比スポーツ医・科学研究所
スポーツリハビリテーション科
(日本初の総合スポーツ診療・研究機関として発足)

私は、中学生の時の職業体験で理学療法士に興味を持ち、国家試験の合格率が高い星城大学に入学しました。学生時代は、授業後も大学に残って実技練習に励んでいたことが懐かしく思い出されます。

現在、私は、主に呼吸器疾患の患者様の呼吸リハや、外科術後の患者様の早期離床を図るリハビリに携わっています。患者様が笑顔で退院される姿を見れたときは、理学療法士としてのやりがいを感じます。努力すれば必ず報われると信じて日々精進しています。

Profile 理学療法士

松下 明日香先生 (9期生)
諏訪赤十字病院
リハビリテーションセンター理学療法課

患者様一人ひとりを
しっかりと評価できる
理学療法士でありたい



Profile 作業療法士

初山 有希子先生 (1期生)
株式会社シンフォニア
訪問看護ステーションレガート所長

人と人・人と生活・
人と社会の間を
滑らかに繋げ
在宅リハビリテーションを実現する

音大を卒業した私は、作業療法士として音楽療法を用いることができたらと考え、社会人枠で星城大学に入学しました。苦楽を共にしたあの頃の仲間は、今でも心の支えとなっています。

4年前に東海市に訪問看護ステーションを立ち上げました。幅広い年齢層のリハビリはやりがいに溢れ、それと同時に、大変さも感じています。

作業療法士にとって、「ひと」として「ふつう」の考えを持ち続けることが大切だと思います。専門知識や経験が増えると、自分の立ち位置を見誤ってしまいがちです。私は、今後も普通の考えや感覚、具体的なビジョンを持ち続け、在宅分野で意味あるリハビリを実現したいと考えています。

私は、運動強度の違いによる筋力向上への効果を大学の卒業研究テーマとし、指導教官から様々なことを学びました。この卒業研究をもとにした論文が学術誌「作業療法」に原著論文として掲載することができたことは、とても嬉しいことでした。

現在、私は、急性期の脳血管疾患患者のリハビリを担当し、脳梗塞などにより麻痺等を呈している患者さんに一日でも早く生活に戻れるよう、リハビリを実施しております。

これからも知識や経験を重ね、患者さんに寄り添ってリハビリをし、培った知識や経験を活かし、学生指導にも携わりたいと考えています。

Profile 作業療法士

備前 宏紀先生 (6期生)
津島市民病院
リハビリテーション室



120%の準備が私を支える
20%想定通りにならないかも
100%の準備を提供できる

私は、在学中の実習で、作業療法士は、患者さんの人生を背負っている責任の大きな職業だと感じました。また、大学の先生から言われた「自分の親がリハビリをしてもらいたいと思う作業療法士になれ」という言葉は、現在も常に意識しています。

現在、私は、超急性期医療や難病、ガンなどを患った方を対象に臨床を行っています。年齢層も幅広く、また、疾患も様々で、患者さんがくださる「ありがとう」の言葉と笑顔が私の頑張る原動力となっています。

私は、今後も、謙虚な気持ちを大切にし、患者さんに寄り添うことのできる作業療法士でい続けたいと思っています。

Profile 作業療法士

勝呂 咲先生 (8期生)
名古屋大学医学部附属病院
リハビリテーション部

患者さんを
笑顔にできる
作業療法士になりたい



学園アカルト

海外留学生の視点で、地域の魅力を調査・情報発信

星城大学

外国人観光客に対する観光振興の調査研究が東海市と星城大学の協働で実施され、本学の留学生が調査に協力しました。ワークショップでは、知多半島のパンフレットから外国人が魅力に思う観光資源を調査。知多半島の自然豊かな観光地や、特産等に関心が集まりました。その後の現地調査では、南知多グリーンバレイや篠島等へ赴き「故郷と似た景色がある」等、外国人視点の魅力をSNSにより母国語で情報発信しました。

本調査研究の報告会が「東海市産学官連携協議会（東海市・東海商工会議所・星城大学で構成）」の協力により大学で実施され、本学からは「留学生は写真撮影が上手く、地域の魅力向上と情報発信への貢献が期待できる」と報告しました。



▲ワークショップで知多半島の観光資源を調査



▲篠島への現地調査



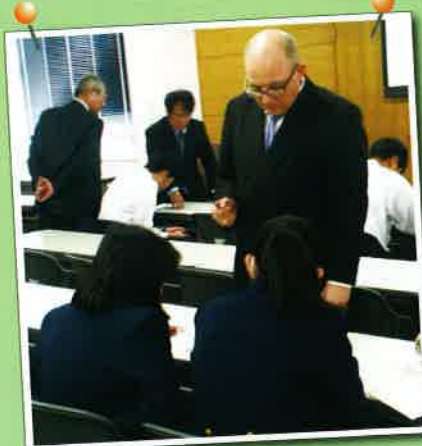
▲南知多グリーンバレイでの現地調査



▲調査報告会の様子

SGHアソシエイトとしての今年度の活動

星城高等学校



▲SGH 英語講座

平成27年度、星城高等学校は、文部科学省から、スーパーグローバルハイスクールアソシエイトに指定され、SGH英語講座、SGHアジア学講座をメインに、イングリッシュキャンプ、SGH講演会、さらにミャンマー海外研修など、様々な活動をしてきました。

3月には、これまでの活動の集大成として、中学生17名を含む56名が、10グループに分かれ、パワーポイントを利用して、探究



▲海外研修生との交流（JICA中部）

学習の校内発表会が行われました。1年間の取組みの成果を思う存分に発揮した見事な発表会となりました。

活躍する星城中学生

星城中学校



▲鈴木千貴くん(左) 奥田智也くん(中央) 柴田大育くん(右)

星城中学ゴルフ部は、今年の春の全国大会に3名もの生徒が出場します。「1校」から3名も出場することは異例のことで、今年のゴルフ部はひと味違うぞ!という一面を見せてくれました。出場メンバーの1人、2年生鈴木千貴くんは「今回で4回目の全国大会出場になります。今回は他に2人いるので、仲間と共に良い成績を残したいと思います。」と意気込みを語ってくれました。

次はチェロで頑張っている3年生佐藤桂菜さんです。今年度数々のコンクールに入賞し、1月に行われたNHKニューイヤーコンサートにソリストとして出演しました。

「今回のコンサートを通して、沢山の周りの方から応援や感想をいただけてとても嬉しかったです。いつも支えてくれた両親や学校の先生、友だちに感謝をして、これからも精一杯頑張りたいです。」と感謝の想いを述べてくれました。



▲佐藤桂菜さん

雪山遠足

星の城幼稚園



▲みんな、楽しそう

星の城幼稚園の卒園を前にした年長組は、友だちとの最後のふれあいの場として「雪山遠足」へ出かけました。

中央自動車道の恵那山トンネルを抜けるとすぐに富士見台高原の「ヘブンスそのはら」に到着し、ゴンドラに乗って山頂へ向かいました。その後、リフトに乗って雪遊びエリア「キッズワールド」のゲレンデで、雪山ならではの「そり遊び・雪合戦・雪だるま作り」などを楽しみました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、子どもたちは普段見ることのない1メートルを超える積雪の中、たくさんの雪に触れ、自然を体感していました。また、バスの中ではみんな和気あいあいと、クイズをしたりおやつを食べたり、残り少ない幼稚園での良い思い出となりました。

接遇セミナー

星城大学リハビリテーション学院

外部講師をお招きし、1・2年生を対象とした接遇セミナーを実施しました。就職活動は勿論のこと、臨床実習でも社会人として相応しい立振る舞いが求められます。そのため、実習先でもすぐに実践出来るよう、ロールプレイング形式で挨拶や電話対応時のマナー等を学びました。講師からはお辞儀の角度や声の大きさ、メモの取り方や話の聞き方等、自分たちでは気付かなかった細かな部分にも指導が入り、社会人経験のある夜間部の学生も大変勉強になったようです。

1・2年生は今後見学実習や検査・体験実習を控えています。今回の接遇セミナーで学んだビジネスマナーや社会人としての心構えを活かして頑張ってください。



▲接遇セミナー

テレビ番組 メ〜テレ『サクセス』に出演



【インタビュー前にリラックスする石田理事長】

毎週土曜日、午前7時55分から8時放送の「サクセス」に本学園の石田正城理事長が出演しました。最初は緊張した面持ちの石田理事長でしたが、教育理念や建学の精神に触れていくに従い、熱い想いが溢れ出ていました。特に「高校3年間でどういった教育をしたいと思われませんか」と問われた際は、「感謝のできる実践力に富んだ逞しい人間、人格形成・人間形成を目指しています」と力強く語られました。当日は、学園内の星城高等学校での収録でした。普段の生徒たちの様子や石田理事長が授業、部活動の練習を見守る様子、柔道部生徒たちと気軽に話されているところなどが収録されました。

テレビCM 星城高等学校校舎を舞台に..



【撮影風景】

「アイシン精機株式会社」のCM。星城高等学校本館及び第1グラウンドで撮影・放映されたものです。校舎内をプロバスケット選手が縦横無尽にドリブルをしている姿など、カッコいいシーンがいくつも見る事ができます。以下のURLを是非、ご覧ください。
<http://www.seijoh.ed.jp/life/851.html>

星城高等学校 親子で星城 25



星城二代
～父から息子へ～

旅館「やまと」
西尾市吉良町
(旅館経営)

(父) 鈴木敏博さん
星城高等学校第12回生

(息子) 鈴木洋佑さん
星城高等学校第38回生

星城高校での思い出や印象に残っていることは？

(敏博さん) 広い地域から生徒が通学しており、今までの学区とは違った個性の生徒が大勢いるのに驚きました。その結果、交友関係が広がり、視野も広がりました。

(洋佑さん) 何といっても、仰星館訓練です。とても貴重な体験をさせていただきました。今でも友人に会うと、この話題になります。

同じ高校で良かったなど思ったことは？

(洋佑さん) 星城高等学校に父の同級生だったという先生がおみえになり、何かと助けていただき、感謝しています。

旅館経営で心がけていることは？将来のビジョンは？

(敏博さん) 祖母が50歳の時に開業し、私は3代目です。地元の食材にこだわった美味しいお料理と、心身ともに寛いでいただける温泉をご用意し、何よりお客様に喜んでいただけるように心がけています。お客様から「美味しかったよ。また泊まりに来ます」とお声がけいただけただけは、とてもうれしく、やりがいを感じます。

(洋佑さん) 当館は目の前に海が広がっています。夏は海水浴などでアクティブに、冬はゆったりと静かにお過ごしいただけます。景色やお料理で、季節感を堪能していただけるように、また、5年後、10年後には、より良い旅館にすべく妻、子どもともども日々奮闘しています。

授業へ一言

(敏博さん) ぜひ夢や目標を見つけて有意義な高校生活を送ってください。

(洋佑さん) 高校3年間の経験はとても貴重です。いろんなことを経験して、これからの人生に役立ててください。

慈明高等学校との調印式 星城大学 / 星城高等学校

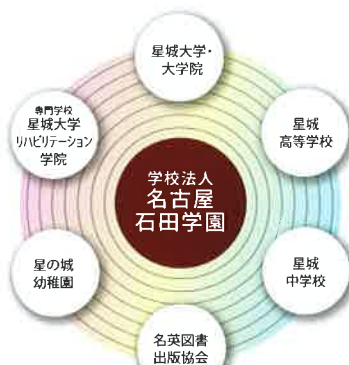
11月25日(水)、台湾(台中市)の慈明高等学校から、楊叔夏校長と歐麗雯人事部長の2名が星城大学を訪れ「星城大学と慈明高等学校との高大連携に関する協定書」についての調印式が行われました。また、グローバル人材の育成を目指した国際交流を掲げる星城高等学校においても、友好提携の調印式が行われました。



【星城大学と慈明高等学校との高大連携に関する協定書調印式】



【星城高等学校と慈明高等学校との友好協定書調印式】



学校法人
名古屋石田学園
法人本部

〒460-0008
名古屋市中区栄1丁目14番32号
Tel: 052-221-8921
Fax: 052-689-6003

URL:<http://www.n-ishida.ac.jp/>